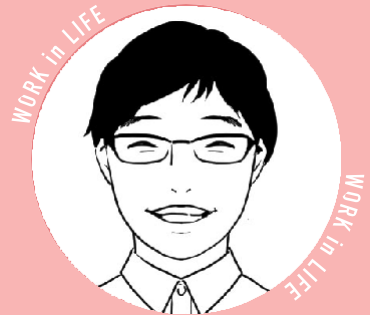


両立社員の ワークライフ

管理部門 シニアスタッフ Kさん

新しいビジネスモデルの開発に携わりながら、育休を取得されたKさん。
在宅勤務やフレックスタイム勤務などをうまく利用しながら働くコツや、
子育てで気をつけていることなどについて伺いました。



Q1. 仕事の楽しさと苦勞する点を教えてください。

ANSWER

現在プリンターを活かした新規ビジネスモデルの開発・構築を進めています。新しい部署ということもあり前例が少なく、常に模索しながら行っている段階です。以前の部署では、基本的に決まった段取りに沿って仕事をしていましたが、今は一から自分達で最適な方法を探していくので大変です。その反面、一つひとつ自分が関わったことが形になっていくことに喜びを感じます。うまくいった時の達成感や「これは自分達が関わった」という充実感を得ることができます。

また、導入いただいている学習塾との打合せの中で、子どもたちの学習習慣の定着や、塾内の業務効率化に役立っているとお声をいただいた時は、この業務に携われて良かったと心から思いました。



聞いてみました！

ワーク
イン
ライフ Q&A

Q2. 育休を取得したきっかけは何ですか？

ANSWER

1人目の時は里帰り出産だったこともあり育休取得は考えませんでした。6年程前なので、今よりも男性で育休を取る人が少なかったことも影響していたのかもしれませんが。今回は上の子どもの保育園の送り迎えや世話もありますし、赤ちゃんの成長をしっかりと見てケアしたいと思いました。育休の取得とその期間は、上司に相談して決めました。

業務が忙しく育休を取得できるか不安でしたが、育休を取得した同期に話を聞いたり、ネットで育休のことを調べて上司に相談したところ、快く後押ししてくれました。期間は、子どもが2月生まれで退院と同時に取得したので、年度末から年度初めの2か月程です。

また、業務については余裕を持って引き継ぎを進めることで対応しました。具体的には、出産予定日の1か月以上前から業務の詳細説明をまとめた資料を準備し、必要な作業の共有を行いました。早めに引継ぎを実施したことにより、出産予定日から3週間ほど早く子どもが生まれましたが、業務への影響を最小限に抑え、育休を取得することができました。育休期間中、業務のサポートをいただいた上司や課のメンバーには、大変感謝しています。

Q3. 子育てと仕事の両立はどうしていますか？

ANSWER

夫婦の生活リズムに合わせて家事・育児の役割を設定しています。妻は在宅勤務をすることがなく、私よりも出勤・退勤が早いので、子どものお迎えや夕ごはんの支度、子どものお風呂を担当しています。私は在宅勤務を利用し、始業前に子どもの朝の準備と保育園への送り、就業後に洗濯や食器洗い、風呂掃除などを行っています。

また、どんなに仕事が忙しくても、家事・育児に関わる姿勢を意識しています。業務が長引き帰宅が遅くなってしまうことはありますが、私が担当している分は必ずやる、といった姿勢が家庭円満の秘訣だと思っています。

Q4. 育児を始めてからの仕事観の変化はありますか？

ANSWER
 終業時刻によって家事・育児へ携わる時間が変わるため、業務の効率化をより意識するようになりました。業務はなるべく20時には終わるように、自分自身の中に期限を設けて行うようにしています。そうすることで終業後にはお風呂から上がった子どもの体を拭き上げ、寝かしつけるなどの育児をすることができています。また、将来的に子どもが希望する道へ進むためには、金銭面でのサポートも必要となるため、**自身のステップアップ**も意識するようになりました。

Q6. 家事・育児で買ってよかったものを教えてください。

ANSWER
 お掃除ロボットとコードレススティック掃除機を購入しました。日々の掃除をお掃除ロボットに任せることで、時間短縮につながっています。衣類除湿器も使っていて、夜に洗濯と部屋干しをして、朝に少し余裕を持てるようにしています。

Q7. 息抜きには何をしていますか？

ANSWER
 家族が就寝後にフリータイムを楽しむことです。また、時々ゲームをしたり、テレビを見たりもしています。日々仕事や家事・育児で忙しい毎日を通っているとストレスも溜まってしまうのでリフレッシュのためにそういった**何気ない時間を過ごす**ことも、とても大切だと思います。

Q5. 両立がうまくいっている点、難しいと感じる点について教えてください。



在宅勤務制度とフレックスタイム勤務を利用することにより両立ができていますと感じています。在宅勤務時は、子どものお風呂上がりから就寝までの時間を一緒に過ごすなど、出社よりも家事・育児に取り組む時間が増えるのでとても良い制度だと感じています。フレックスタイム勤務では、子どもを保育園に送り、ちょっとした

家事をこなした後、在宅勤務をして午後から出社することにより、午前中に家事・育児ができるので、とても助かっています。しかし、出社は自宅と勤務地までの通勤時間があるため帰宅が遅くなることが多く、在宅勤務の時よりも妻に任せることが増えてしまうことが難点です。

Q8. 今後の目標を教えてください。

ANSWER
 目の前の仕事をしっかりと行うことで、5年、10年経っても自分が関わった**ビジネスモデルが会社に役立っている状態**を目指しています。また、育児においても子どもの成長を夫婦で見守り、平和に暮らしていきたいと思います。

TIME SCHEDULE

タイムスケジュール

7:30	起床	20:00	お風呂から上がった子どもを受け取り&拭き上げ&保湿
7:40	朝ごはん	20:30	妻と子どもは就寝
8:30	保育園へ送る	21:00	私のお風呂タイム
9:00	在宅にて業務開始	22:00	お風呂掃除&洗濯&洗い物
19:30	終業	23:00	フリータイム
19:30	夕ごはん	24:00	就寝

POINT

「**依頼を受けたら即完了**」

どんな小さなことでもあとでやろうと思って放置しておくと、お互いにストレスになってしまうのですぐに取りかかり、完了させる。仕事と同じですね。夫婦円満のためにもすごく重要です。

インタビュアーより

在宅勤務とフレックスタイム勤務を上手に利用して育児と仕事を両立しているKさん。ご自身が担当している家事はどれだけ疲れていてもやるのが夫婦円満のコツと仰っていましたが、簡単ではないことを実践されていると感じました。なかなか難しいですが「依頼を受けたら即完了」を意識してみようと思いました。